

# 峠の向こうは春

## 三中に文化を根付かせた取組

三中祭、大変御苦勞様でした。みなさんは、演劇に初めて取り組みましたが、そんなことだったのかと思わせない見事な取組でした。ステージで演技をするキャスト、舞台装置を制作する大道具・小道具・背景画、演出をより際立たせる音響・照明・衣装などさまざまな人たちの努力によって成り立つのが演劇です。また、みなさんは日頃SNS・メディア等でもさまざまな文化に触れていますが、自分たちで創り上げるのは、学校でしかできないことです。

しかも、みなさんが発表した「Good・Bye・My・・・」「人形館」「ユタと不思議な仲間たち」「夢から醒めた夢」「最終列車」のいずれもが、大変中身のある、聴く人にとっても演じる人にとっても深く考えさせるものであり、1980年代から1990年代にかけて演じられ始めてきた上質の演劇です。向日市長岡京市大山崎町の所謂乙訓地方では、ずいぶん前から文化祭でクラス演劇が盛んに取り組みされてきました。これは、京都府の他の地域にはあまり見られない伝統とも言えるべきものです。演劇は、演じる人、道具や背景画・衣装などを製作する人、音響照明を担当する人が自分の得意なこと出来そうなことに挑戦してみんなで作り上げることのできる独特の文化の形態です。

みなさんが大人になったとき、三中3年で演劇を創り上げたことは、他の何事にも替えることができない素晴らしい経験です。また、みなさんの演劇を鑑賞した1年生2年生は、日常で触れることのない格調高い文化を感じたことと思います。自分に、そして自分のクラスに誇りを持ってほしいと思います。

### 行事に取り組む値打ちとは？

さて、二度と経験することができない中学3年生という時期も、残り半年となりました。中学校で行われる行事の値打ちは何でしょうか？以前、ある生徒が体育大会が終わった後、その感想の中で次のように書いていました。

「同じクラスと言っても、普段しゃべらない人とは本当にしゃべることがありません。修学旅行は、新しいクラスになってすぐだし、やっぱり体育大会や三中祭の時に今までしゃべったことがない人としゃべることがありました。行事って、人と人をつなげる役割があるような気がします。」

体育大会や三中祭などの学校行事の値打ちには、彼が言っている通り、人と人をつなげる役割があります。クラスで何か一つのことを取組もうと思えば、性格の違う人同士、運動の得意な人と苦手な人同士が一緒になって取り組んでいきます。その中で、厳しいことを言ったり逆に配慮したり、励ましたりしなければ成り立ちません。つまり、人と人との関わり合いが

必要になります。みなさんもよく分かっていることだとは思いますが、その中で自分の思いや仲の良い人だけの思いが、通るわけはありません。みんなと何かしようと思えば、自分が引いて、他の人のことを優先したり、それぞれの思いを出し合ったりして、話し合いで解決しなければならないことが増えていきます。違う意見に対して攻撃的感情になることがいかに愚かなことなのか、また陰口や悪口では何も解決しないということは、自明の理です。人間は、そういう関わりを通じてお互いの思いを理解して、成長していくものです。他人の意見に耳を傾けようとしなない人は、何の進歩もありません。極端なことを言えば、いくら勉強ができたとしても、いくらスポーツが優秀だとしても、人としてまわりの人をリスペクトできない人に成長の兆しは何えませんが、そんなこともふりかえってほしいと思います。

## 授業への集中力を高めていこう！

中間テストが終わって約1ヶ月が経ちました。中間テスト前あたりから、授業や学習にそして進路希望先決定に向けてかなり気合いの入っている人を見かけるようになりました。それまでに、“普通に”授業を受けていた人の中には目の色が変わって、クラスの仲間に分からないことを聞いて学力をつけようという人がいます。現在、第3回進路希望調査を提出してもらっていますが、今後、二者懇談→第3回復習テスト→高校の先生方を迎えての説明会→進路用写真の撮影と、より一層進路に関わる内容がみなさんの毎日の生活の中心になってきます。みなさんは、受験先の高校を決定できていますか？今回の第3回進路希望調査に基づいて、教育相談の中で、担任の先生としっかり話をしてください。その中で疑問があれば遠慮なく尋ねてください。高等学校側もいよいよ、「学校説明会」から「入試説明会」「個別相談会」と趣旨が変わってきます。是非、活用しましょう。そして、内申評定の重要な材料となる期末テストを最後に11月が終わります。そんな見通しも持ちながら、これからの生活を送ってほしいと思います。分からないことがあれば、また不安なことがあれば先生に何でも尋ねたり、話したりしてください。3年生みんなで頑張りましょう！

## 京都府教育委員会からのお知らせです

### 「京都府高校生等修学支援事業予約申請」の案内を配付します。

京都府・京都府教育委員会が行っている「京都府高校生等修学支援事業予約申請」の用紙（サーモンピンク）を配付します。これは、「国からの支援」「京都府のあんしん修学支援」とは別の「貸与」によるものです。高等学校に入学してからも申し込むことができますが、中学校在学中に手続きを済ませることができれば、4月から貸与が可能になります。申込を希望されるご家庭は、直接進路担当までご相談ください。

### 「京都府立高等学校学習用端末購入支援制度について」の案内を配付しました。

京都府教育委員会は、各高等学校が指定する学習用端末（ノートPCやタブレットなど）を入学時に購入することになることから、先日、その購入にかかる経済的負担を軽減するための支援制度に関わる案内を配付しましたので、ご覧ください。